

【二】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

(渋谷秀樹『憲法への招待』より)

設問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- |   |      |     |      |   |      |   |      |   |      |     |   |
|---|------|-----|------|---|------|---|------|---|------|-----|---|
| ① | ハイ景  | (ア) | ハイ業  | イ | ハイ離  | ウ | ハイ命  | エ | 若ハイ  | ( ) | 1 |
| ② | チヨウ収 | (ア) | チヨウ兵 | イ | 前チヨウ | ウ | チヨウ望 | エ | チヨウ簿 | ( ) | 2 |
| ③ | リ行   | (ア) | リ修   | イ | リ陸   | ウ | 胸リ   | エ | 瑠リ   | ( ) | 3 |
| ④ | コウ妙  | (ア) | コウ遇  | イ | コウ送  | ウ | コウ禁  | エ | コウ緻  | ( ) | 4 |
| ⑤ | ヨク制  | (ア) | ヨク揚  | イ | 卑ヨク  | ウ | 羽ヨク  | エ | 肥ヨク  | ( ) | 5 |

(二) 空欄 A E に入る語句として適切なものを、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- |   |     |         |   |         |   |         |   |         |     |    |
|---|-----|---------|---|---------|---|---------|---|---------|-----|----|
| A | (ア) | 落ち着きました | イ | 措置されました | ウ | 込められました | エ | 並べられました | ( ) | 6  |
| B | (ア) | 感嘆符     | イ | 終止符     | ウ | 疑問符     | エ | 免罪符     | ( ) | 7  |
| C | (ア) | 複合的     | イ | 特定の     | ウ | 物理的     | エ | 意識的     | ( ) | 8  |
| D | (ア) | 強制力     | イ | 抵抗力     | ウ | 発信力     | エ | 推進力     | ( ) | 9  |
| E | (ア) | このため    | イ | とはいえ    | ウ | もしくは    | エ | たとえば    | ( ) | 10 |

(三) 傍線部 a に関する説明として、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 [11]

- ア 国内では住民に対して独占的な支配権を獲得し、国外では他国から間接的な支配権を確立すること
- イ 国内では住民に対して直接的な支配権を獲得し、国外では他国から独立した支配権を確立すること
- ウ 国内では住民に対して独占的な支配権を獲得し、国外では他国から直接的な支配権を確立すること
- エ 国内では住民に対して間接的な支配権を獲得し、国外では他国から独立した支配権を確立すること

(四) 空欄 X 〓 Z に入る言葉の組み合わせとして、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 [12]

	X	〓	Y	〓	Z
ア	直接的	〓	重層的	〓	間接的
イ	重層的	〓	間接的	〓	直接的
ウ	間接的	〓	重層的	〓	直接的
エ	直接的	〓	間接的	〓	重層的

(五) 本文中の「Ⅰ」〓「Ⅳ」のうち、次の一文が入るべき適切な場所を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 [13]

しかし、これは、国家そのものではありません。

- ア [Ⅰ]
- イ [Ⅱ]
- ウ [Ⅲ]
- エ [Ⅳ]

(六) 次の各文のうち、本文の内容と合致しないものを一つ選び、その記号をマークしなさい。 [14]

ア 現在意味する「憲法」の内容は、実は西欧を起源としている。

イ 国家を構成する領土・人・統治権は、形としてイメージできる。

ウ 約束事にすぎない統治権は、実は私たちの生活を支配している。

エ 聖徳太子の十七条憲法は、真の意味での憲法であるとは言えない。

(七) 傍線部 **b** と同じ意味・用法の「も」が用いられている文を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい [15]

ア 1分も|すれば到着する。

イ 話したくも|ない。

ウ この本は五千円も|する。

エ 国語も|好きだ。

【三】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

(松岡享子『子どもと本』より)

設問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- |   |       |     |       |   |       |   |       |   |       |     |    |
|---|-------|-----|-------|---|-------|---|-------|---|-------|-----|----|
| ① | 残 コ ク | (ア) | コ ク 限 | イ | コ ク 似 | ウ | 稲 コ ク | エ | 超 コ ク | ( ) | 16 |
| ② | シ 激   | (ア) | シ 客   | イ | シ 離   | ウ | シ 峻   | エ | 座 シ   | ( ) | 17 |
| ③ | カ ク 絶 | (ア) | 阻 カ ク | イ | カ ク 寿 | ウ | 沿 カ ク | エ | カ ク 醒 | ( ) | 18 |
| ④ | 極 タ ン | (ア) | 哀 タ ン | イ | タ ン 架 | ウ | 魂 タ ン | エ | 末 タ ン | ( ) | 19 |
| ⑤ | ト ウ 合 | (ア) | ト ウ 轄 | イ | ト ウ 過 | ウ | ト ウ 滅 | エ | ト ウ 避 | ( ) | 20 |

(二) 空欄 A に入る語句として適切なものを選び、その記号をマークしなさい。

- |   |     |      |   |      |   |      |   |      |     |    |
|---|-----|------|---|------|---|------|---|------|-----|----|
| A | (ア) | それでも | イ | それゆえ | ウ | あるいは | エ | すなわち | ( ) | 21 |
| B | (ア) | 体制図  | イ | 見取図  | ウ | 設計図  | エ | 勢力図  | ( ) | 22 |
| C | (ア) | 私利私欲 | イ | 唯我独尊 | ウ | 我田引水 | エ | 傍若無人 | ( ) | 23 |
| D | (ア) | 無邪気  | イ | 脳天気  | ウ | 空元気  | エ | 小意気  | ( ) | 24 |
| E | (ア) | 相乗的  | イ | 偽善的  | ウ | 断片的  | エ | 重層的  | ( ) | 25 |

(三) 傍線部 a に関しての説明として、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。

26

- ア おとな及び子どもの心を惹きつける力があること
- イ 勸善懲悪の内容から判断力をつける力があること
- ウ 子ども達の心をつかんで集中させる力があること
- エ おとなと子どもとの間に共有できる力があること

(四) 空欄 X、Y、Z に入る言葉の組み合わせとして、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。

27

	X	Y	Z
ア	名前	個性	名前
イ	個性	名前	個性
ウ	名前	個性	個性
エ	個性	名前	名前

(五) 本文中の〔Ⅰ〕～〔Ⅳ〕のうち、次の一文が入るべき適切な場所を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。

28

これも、昔話が子どもに受け入れられやすい理由のひとつです。

- ア 〔Ⅰ〕
- イ 〔Ⅱ〕
- ウ 〔Ⅲ〕
- エ 〔Ⅳ〕

(六) 次の各文のうち、本文の内容と合致するものを一つ選び、その記号をマークしなさい。 29

ア 昔話は、ここ二百年ほどの間に文学の世界から追放されたが、子どもの世界では生き残っている。

イ 二十世紀に入ってから、昔話を研究する学問として、民俗学、心理学・文学という順でこの三点が発展した。

ウ 昔話における「一次元性」とは、日常の世界と超自然的世界との間に乖離がないことを示している。

エ 昔話における「平面性」とは、昔話の聞き手の子どもたちと昔話の主人公との一体化を示している。

【三】 次の設問に答えなさい。(解答は記述問題用の解答用紙に記入すること。)

左記の例文は、「子どもには幼少期から習い事をさせるべき」という意見に対して、賛成の主張を述べた文章である。これにならって、この意見に対して反対の主張を述べた文章を作成せよ。

【例文】

私はこの意見に賛成である。なぜなら、脳の発達が著しい幼少期から様々な体験をすることで興味関心の幅が広がり、将来の選択肢も広がるからである。(六九字)

なお、答案は解答欄の形式に従うものとし、「なぜなら、」に続けて六〇字以上一〇〇字以内(解答欄にすでに記載済みの文字数も含む)で記述すること。

(問題終わり)